2026年3月期　第1四半期
決算補足説明資料

2025年 7月31日（木）

ウェーブロックホールディングス株式会社
証券コード：7940
（東証スタンダード市場）

■ 売上高　7,090百万円（前年同期比＋9.1%）

- 上期予想進捗率52.5%
- 米国関税政策前の駆け込み需要により自動車向け販売が伸長
- 猛暑対策向け遮熱・遮光網は昨年を上回り拡大

■ 営業利益　532百万円（前年同期比＋148.6%）

- 上期予想進捗率84.6%
- 売上高増加要因が利益にも貢献
- 原材料価格上昇分の売価転嫁に伴う利益率改善
- 退職給付債務の再計算も寄与

■ 当期純利益　346百万円（前年同期比＋19.1%）

- 上期予想進捗率86.7%
- RP東プラの持分法利益を計上した一方、為替差損が発生（前年同期は為替差益）

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

第1四半期業績概要

Wavelock Holdings Co.,Ltd.

- **売上高・営業利益は概ね計画通り。**経常利益以下では持分法利益の増加や為替差損の想定内収束が寄与
- **遮熱・遮光網**などの農園芸品が**計画を上回り**貢献。北米向け**自動車向け販売**は**関税政策前の需要増**により在庫消化や出荷が増加。退職給付債務の再計算による影響は＋73百万円。
- 第2四半期以降
  マテリアルソリューション事業は農園芸品が堅調を維持。一方で、期初の改訂益想定のズレや顧客提供材料の価格改定遅れにより決算調整における在庫評価が想定を下回っており、このカバーが計画達成に向けた焦点。アドバンストテクノロジー事業は米国関税やEV補助金終了の影響で低調推移の見通し
- **業績予想**は第2四半期、通期ともに**据え置く**

（単位：百万円）

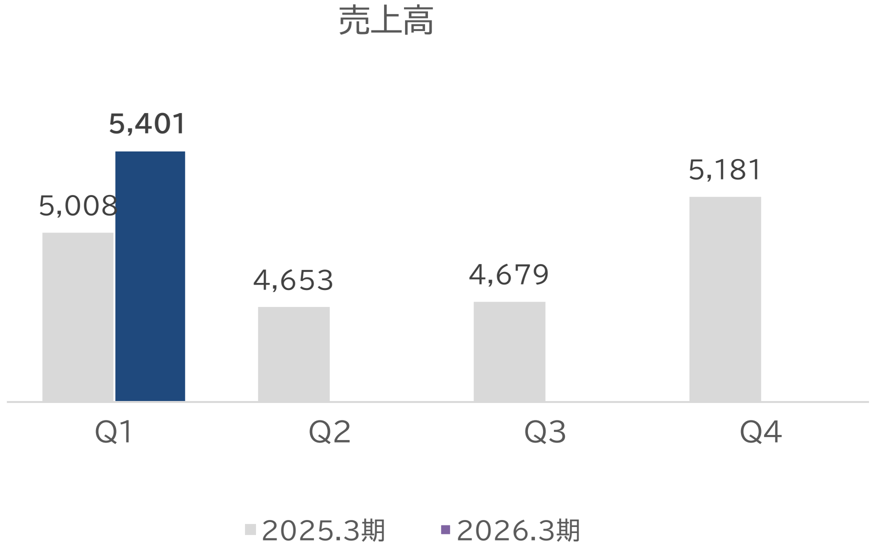
	2025年3月期第1四半期（実績）	2026年3月期第1四半期（実績）	増減率	上期予想	上期予想進捗率	通期予想
売上高	6,499	7,090	+9.1%	13,500	52.5%	26,500
マテリアル	5,008	5,401	+7.9%	-	-	20,000
アドバンスト	1,496	1,693	+13.2%	-	-	6,500
営業利益	214	532	+148.6%	630	84.6%	850
マテリアル	391	603	+53.9%	-	-	1,230
アドバンスト	△14	79	-	-	-	290
その他	△ 162	△ 149	-	-	-	△670
経常利益	427	486	+13.9%	570	85.4%	850
当期純利益	291	346	+19.1%	400	86.7%	580

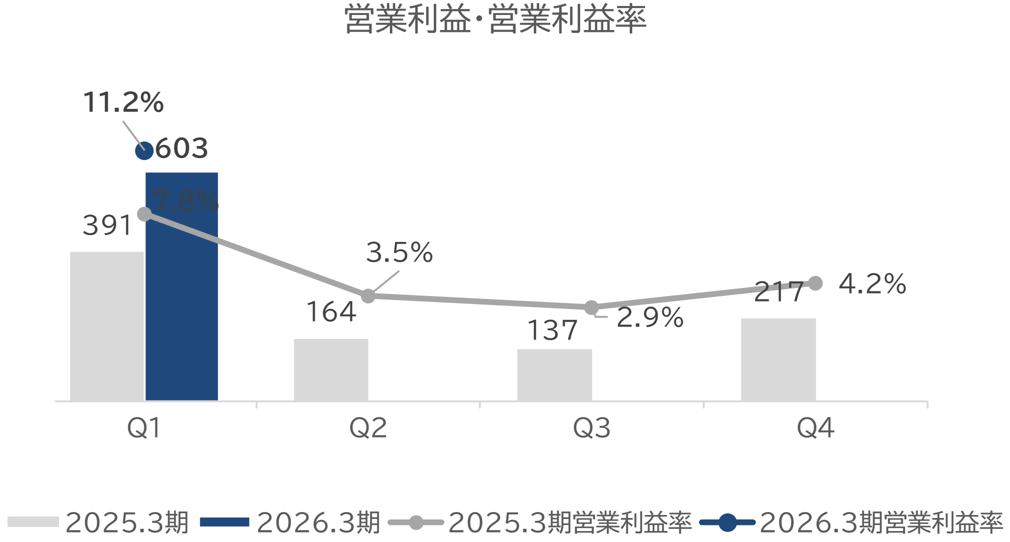
Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

セグメント概況(マテリアルソリューション事業)

Wavelock Holdings Co.,Ltd.

単位:百万円





リビングソリューション:
- ホームセンター向け販売においては家庭菜園向け園芸用品は堅調に推移するも、防虫網は引き続き低調。今期より連結したミネ社との連携は順調に進捗。同社の技術力を活かした新製品を拡充し、8月のジャパンDIYホームセンターショーで展示予定

ビルディングソリューション:
- 原材料価格上昇分の売価転嫁値上げや、仮設資材用ターポリン、メッシュシートおよび間仕切用シート等の販売が好調に推移。決算調整に伴う在庫評価の影響により利益は想定を下回ったものの、前年同期比では増益

パッケージングソリューション:
- コンビニ向け弁当容器の低調をヨーグルト容器向けシートがカバーし、売上高は前年同期同等。決算調整による在庫評価の影響で利益は想定を下回ったものの、生産効率の改善により前年同期比では増益

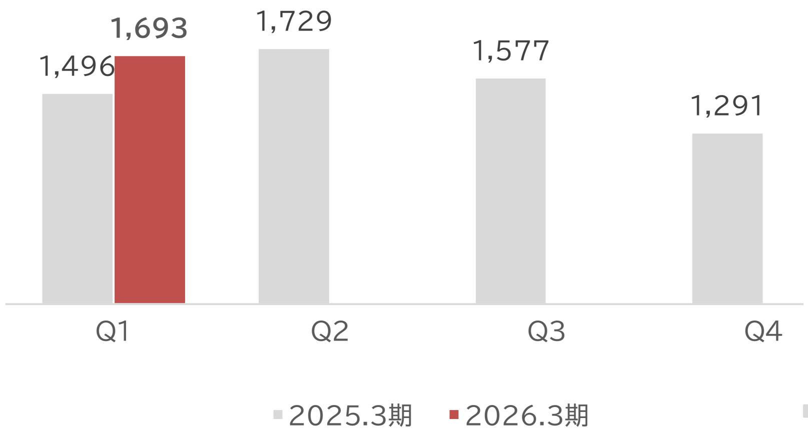
アグリソリューション:
- 茶葉生産者向けの遮光網が好調。さらに、短期梅雨や全国的な猛暑を背景に、「清冷」を中心とした遮熱網など農業向け遮熱・遮光用途品の販売が前年を上回るペースで拡大し、売上高、利益ともに大きく貢献

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

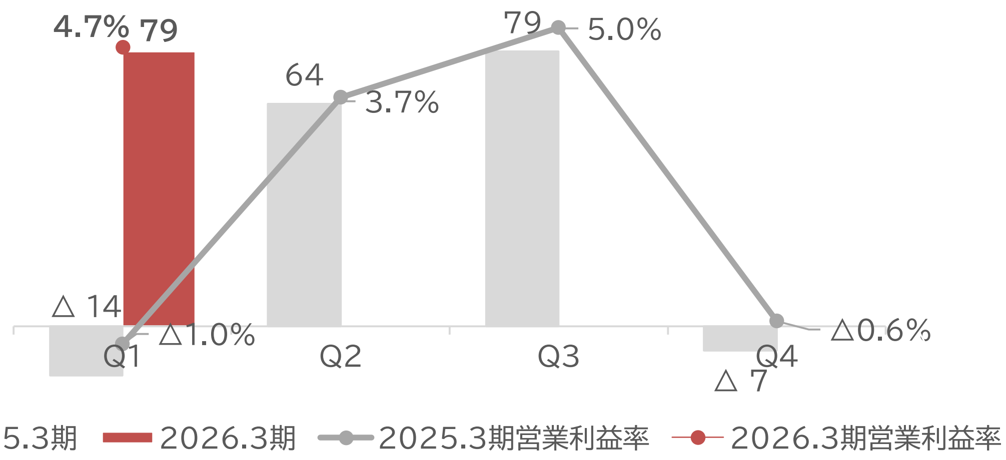
セグメント概況（アドバンストテクノロジー事業）

単位：百万円

売上高



営業利益・営業利益率



デコレーション＆ディスプレー：

- 拠点を設立し今期より活動を本格化したインドでは、金属調加飾フィルムが現地大手自動車メーカーのエンブレムに採用され好調に推移。国内販売も堅調を維持する一方、中国向けは現地EVメーカーの在庫調整の影響などにより低調に推移しており、引き続き需要動向を注視
- 北米では、関税政策前の駆け込み需要により、自動車向け金属調加飾フィルムおよび成形加工品の販売が伸長。品質対応の一環としてオハイオ工場でもISO9001を取得。先行してTier1登録されたEV専業メーカーに加え、6月にはGMからもTier1サプライヤーに認定。今後はIATF16949の取得に向けさらに品質管理体制を整え、取引拡大を目指す。追加関税やEV補助金終了の影響を注視しつつ、中長期的な成長に向けた販路拡大に取り組む
- 高透明多層フィルムは車両内装ディスプレー、ヘッドアップディスプレー、内装パーツやEV充電器の販売が増加

その他：

- テレビモニター用導光板の販売減少も、仕入販売のため利益への影響は些少

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

トピックス

Wavelock Holdings Co.,Ltd.

マテリアルソリューション事業

福岡県・久留米花卉市場に導入した地中熱空調システムが、猛暑対策の事例として西日本新聞およびテレビ朝日系「報道ステーション」で紹介されました。

地中熱を活用した空調に加え、自社製シートを用いた間仕切りにより空調効率の向上を図っています。

・西日本新聞(2025/5/8)
https://www.nishinippon.co.jp/item/1348146/

・テレビ朝日系「報道ステーション」(2025/7/4)
https://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/900168346.html

正面左中央:間仕切りシート
正面右奥の機械:エアーハンドリングユニット

広範囲の空調管理により花の鮮度維持が可能となった

アドバンストテクノロジー事業

インドに拠点を開設し、今期より営業活動を本格始動いたしました。

オフィスを構えたGurugramには、MarutiSuzukiの第一工場、R&D、Hyundaiインド本社やTier1のオフィスも多い商業都市

現地自動車メーカーによる、エンブレムなどへの金属調加飾フィルムの採用がすでに拡大しており、さらなる拡販とアフターフォローの充実を図ってまいります。

光透過性が評価され、エンブレムに採用

デザイン刷新に伴い、メッキでは難しい構造や色調に対応できる点が評価され、デザインが異なる一部車種を除き全車種に採用

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.

免責事項

本資料における見通しは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

本資料に記載されている内容・写真・図表等の無断転載を禁止します。

Copyright©Wavelock Holdings Co., Ltd. All Right Reserved.